

水

水まわり全般

- 蛇口の水漏れ修理・取替
- 漏水調査・修理
- トイレ・排水詰まり
- 浄化槽施工管理・下水切替工事
- 打抜き工事（地下水利用）
- 家庭用ポンプ取替
- 浄水器・水素水・軟水器など

熱

各種給湯器

- ガス（エコジョーズ）
- 電気（エコキュート）
- 灯油（エコフィール）
- ハイブリッド給湯器（ガス+電気）
- 太陽熱温水器
- 太陽光発電 ●蓄電池
- 燃料電池（エネファーム）

米

玄米・白米・米粉販売

- 県内外の美味しいお米を取り扱っています。
- 米粉、玄米粉

無洗米もおすすめてです

ちょっと困った事をおまかせ下さい

快速をもっとたっぷり **CHOFU** リフォームフェスタに是非お越しください

会場：松山市大可賀2丁目1番28号 アイテムえひめ

日時：4月14日（金）13：00～17：00 15日（土）9：00～16：00

長府製作所製の給湯器、システムキッチン、システムバスを特別価格で全力応援させていただきます。

- ご来場記念にミズノスポーツタオルをプレゼント（リフォームフェスタ案内封筒と引換）
- 先着30名様のお子様にくまモンのノートをプレゼント
- エアコンオークション ●ご成約プレゼントもあります

ご来場ご希望の方は御招待状をお渡し致しますので、お申し付けください。

おばあちゃんの知恵袋

シリーズ『脂肪をためこまない冷え解消法』
デトックス効果でやせやすく
「天然塩入り白湯（さゆ）」

白湯（さゆ）は、沸騰させたお湯を少し冷ましたもの。少しずつするように飲むと体温を上げ、冷え取りに効果があります。さらに、便秘を改善してデトックス効果も期待できます。そこに一つまみの天然塩を入れると、効果は倍増。天然塩にはミネラルが豊富に含まれているので、血行を促進して体を温め、やせやすい体になります。

入浴前と就寝前に、コップ1杯ずつ飲みましょう。精製された塩ではなく、天然塩だからこそその効果です。

小林正観メッセージ 28

『人生はシナリオどおり』

脳にウケるおもしろ雑学

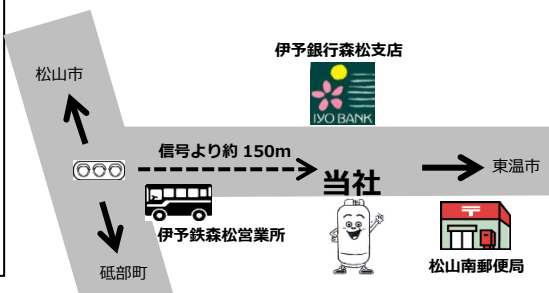
なぜ、サボテンは水をやらなくても大丈夫か？

植物が水分をたくさん必要とするのは葉が蒸発させているからである。蒸発させて、吸い上げ、高い樹木でも天辺まで水が供給される。サボテンが水なしで大丈夫なのは水分を蒸発させる葉がないからで、水のない土地でも太い幹に水を蓄えて生きながらえる。見かけは異なっても、植物として生態は同じ。季節がくれば花が咲き、実がなる。

水・熱・米・くらしのパートナーショップ

玉井産業株式会社

松山市森松町 650-1
0120-39-0065





備えてますか？南海トラフ地震

愛媛県では1万6,000人の死者が出ると予想されています

●県内被害想定

南海トラフ巨大地震とは、現時点の最新の科学的知見に基づき想定した、南海トラフで発生しうる最大クラスの地震のことで、発生する可能性は極めて低いものの、ひとたび発生すれば甚大な被害をもたらすM9クラスの巨大地震です。発生した場合、ほとんどの地域で震度6弱以上、最大で7となり、また津波は宇和海沿岸で9m以上、瀬戸内海沿岸でも3m以上予想されます。地震、津波等による県内の被害は、死者16,032人、建物の全壊243,628棟、更に県下のほとんどの地域で電気、ガス、水道が止まることから、1ヶ月後の避難者数は558,902人と、多くの方が避難生活をおくることが想定されます。

●もしもの時のために！

住宅の耐震化や家具の転倒防止、早期避難等の日頃の備えで被害は減らせます。

1. 地震発生時にどういった行動をとれば良いか、日頃から考えるとともに、知識を深めましょう。
2. 住宅の耐震化、家具類の転倒防止対策の実施等、住宅の安全確保に力を入れましょう。
3. 防災訓練等の参加や避難場所を把握し、地震発生時に迅速に避難できるようにしましょう。



地震が起きた直後は、水、食料、日常生活用品もすぐには入手できません。救援活動が受けられるまでの間の水や食料などを各家庭で蓄えておく必要があります。3日以上以上の備蓄は必要です！お薬を飲まれている方は、避難時に「お薬手帳」をお忘れなく。

●災害に強い分散型エネルギーLPガス！

皆様にご利用いただいているLPガスは、都市ガスや電力などの系統供給とは異なり、容器に充填したLPガスを各戸に配送をする「分散型」供給を行っています。これにより、配管など供給設備の点検も短時間で済み、異常があった場合も迅速に復旧させることができます。例えば、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県では、津波で建物が損壊または流されてしまったもの等を除いて、地震発生後約3週間程度で大方の復旧が完了し、都市ガスおよび電力よりも早い時期に全面復旧を果たしています。また「軒下在庫」として常時LPガスを容器にストックしているため、万が一配送が滞った場合でも、すぐにガスが切れるということはありません。例えば50kg容器が2本設置されている場合、1本の容器に半分程度のLPガスが残っていれば、およそ1ヶ月程度はそのまま使用することができます。LPガスは災害時の備蓄用エネルギーとして、そのままご活用いただくことができます。LPガスは、地震などの過去の大災害においていち早く完全復旧を果たすだけでなく、避難場所や被災者用仮設住宅における調理や給湯などの主要エネルギーとして活躍し、災害に強いエネルギーであることが実証されています。

●震災直後のLPガス利用を支えた軒下在庫、LPガスは他のエネルギー利用者のお役に！

仙台の都市ガスエリア内で、LPガスを使用している家庭は、自身も被災したが、ガスが切れなかった為、周りの都市ガス使用者やオール電化住宅の利用者に、お風呂を提供し、感謝された。(H23年3月現地情報より)



軒下のLPガスを使って炊事や暖を取ることができます。停電中でも、右のようなガス発電機があれば、LPガスを発電機の燃料として使えます。照明や携帯電話の充電の他、水を確保できれば給湯器を使ってお風呂も沸せます。



LPガス事業者の復旧努力、代替輸送、相互援助活動により、再供給が可能になります。

<非常用電源装置> 自宅のLPガスを発電機の燃料として使用できます。災害時でも燃料入手の心配もなく、長時間の使用が可能です。店舗や一般家庭でライフラインをサポートします。

●避難所で活躍するLPガス

地震災害等により家屋が倒壊した場合、被災者は避難所や仮設住宅での生活を強いられることになります。そんな時でもLPガスは、給湯、煮炊きに加え、暖房、発電など行うためのエネルギー源として、当該施設に迅速に設置し、被災者の生活を支援することができます。これも「分散型」の特性を活かした大きな強みの一つです。

避難所で利用されるLPガス



炊き出し



◎東日本大震災被災地の方の声 茨城県・30代

我が家でもガスを使用しています。3月の地震の際も電気は止まってしまいましたがガスが使えたので調理に大変役立ちました。世間ではオール電化が普及しガスを使っているのが時代遅れな感じはしていましたが、奇しくも震災という大災害の時に時代遅れなどと思っていた自分がはずかしくなりました。いつ起こるか分からない大災害の時に機能するものこそ長く使っていきたいのさと感じました。
(日本LPガス協会実施したWEBサイトキャンペーン資料より抜粋)